



2025 MFJ 全日本トライアル選手権シリーズ 第3戦 もてぎ大会

2025 年 6 月 7 日
大会事務局

公式通知 No.12

パンチミス発生時の対応について

パンチミス発生時の対応は下記の通りです。

付則 19 トライアル競技規則 12「ペナルティー」

12-2-7

「セクション審判員（オブザーバー）が、**手またはプラカードで示す減点は暫定的なものであり、パンチカードなど記録用紙に記したものが、そのセクションにおける最終的な結果である。暫定的な表示から結果が変更されたり、競技監督から追加減点が通告される場合がある。**」

【補足】

「暫定的な表示から結果が変更されたり、」は「**手またはプラカードで示す減点**」を指す

【関連規則】

▶ 12 ペナルティー

12-2-4 セクション見落とし

順次セクションをめぐる方式の場合、次のセクションにトライしてしまった。同時スタート方式の場合、カード提出時に採点パンチ等の記録がなかった。それぞれ見落とししたセクションに対して。また、両方式ともトライをしたがパンチ等を受けていなかった場合も同様の取り扱いとなる。10 点

▶ 13 結果の記録(スコアカード、パンチカード、記録カード)

13-4 **セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認しなければならない。**

13-5 ライダーは自分のスコアカードに各セクションでマーク(パンチ)を受け、求められたときにはオフィシャルにスコアカードを手渡す義務がある。

▶ 19 抗議

19-3 セクション審判員(オブザーバー)が下した判定に対する抗議はできない。

【パンチミスが起きた場合の対応方法について】

点数判定後、当該セクションでパンチミスをパンチャーもしくはライダーが気付いた

その場、または次のセクションに入るまで修正することは可能

次のセクションにトライした以降

パンチミスがあり、修正したことを本部に報告

修正はできない

【ライダーの皆さまへ】

ライダーの皆さまは「**13 結果の記録(スコアカード、パンチカード、記録カード) 13-4 セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認しなければならない。**」のとおり、

必ずそのセクションで点数を確認してください。

判定された点数とは異なる場所にパンチがされていたら、パンチャーに申告をして修正してください。

以上